

福祉の仕事の魅力を広い世代に伝えるため、福祉施設で働く若者の「声」を紹介するシリーズ。第2回は小規模多機能型居宅介護と認知症対応型共同生活介護を行う「夢かご」（緑区佐野川）で働く石井沙耶未さん（29）。

もともと接客業をしていた石井さん。知人から介護の仕事に誘われた時も「絶対に就かない職業」だと思ったという。そんな時に、祖父が体調を崩した。「（介護の仕事をするれば）経験として祖父に活かせるかな」。そんな思いから福祉のしごと飛び込んだ。



「続けていきたい」と語る石井さん

福祉のしごと・魅力発信②

企画／相模原市社会福祉協議会

「この道を選んでよかった」

小規模多機能型居宅介護 夢かご勤務 石井沙耶未さん



業務は送迎に始まり、入浴、昼食作り、体操指導などのほか、買い物や雪かきなど、生活支援になることなら「とにかく何でもやる」。スケジュールはタイトだが、職員同士でチームワークよく業務にあたれているため、辛さはない。「利用者はみんな家族みたいなもの。『ありがとう』と言ってもらえるのが一番嬉しい。認知症の方が自分の名前を覚えてくれた時には、驚きと感動がありました」と語る石井さん。勤務しながら勉強を重ね、介護福祉士の資格も取得した。「ここは本当に居心地が良い。ずっと介護の仕事に携わっていきたいですね」

■夢かご

緑区佐野川3104-1

☎042・686・6881

※看護職員・介護職員募集中